｜重職者の手紙｜週刊誌　｜Vol.257

深い泉

@幸せな贈り物

現代版奴隷と名品人生

使い道がない人生　こういうユーモアを読んだことはありますか。
ある学生が熱心に祈って、とうとう神様と対話をするようになりました。
「神様。神様には 1 億年がどれくらい長い時間でしょうか?」
「1 秒だよ」
「それでは 1 億円はいくらでしょうか?」
「1 円だよ」
そのとき、学生がにっこりと笑いながら話しました。
「それでは、私に 1 円だけください」神様の返事はこうでした。
「そうか。1 秒だけ待ちなさい!」
最近、フン・サダン透明社会運動本部は、キョンギ・インチョン・ソウルなど首都圏に居住する小・中・高生 6 千人を対象に倫理意識質問調査を行いました。
その結果「1 億円が手に入るなら 1 年間監獄に入ってもかまわない」という答えが小学生は 12%、中学生 28%、高校生は 44%にもなりました。
「他人の物を拾って私が持っていても大丈夫だ」と思う比率は、小学生 36%、中学生 51%、高校生 62%にもなりました。
　少し前、SBS 放送の「黄金羅針盤」で顔を隠したまま出演した 23 歳のキム・シウン（仮名）さんは「夜になればまた別の私になる。カンナム最高級のルームサロン（風俗店）、そこで私はテンプロだ。すでに 1 年の間平凡な大学生でテンプロとして暮らしている」と自分を紹介して「一ケ月の収入は最高 2,000 万ウォン（約 180 万円）、平均 1,000 万ウォン（90 万円）でルームサロンに来る苦しんでいる人に暖かい話で相談をするのにやりがいを感じる」と堂々と明らかにしました。そうかと思えば、最近、地下 1 階から 9 階まで建物全体を売春の場所に使う「フルサロン」Full Salon が登場して摘発されたのですが、お客さんが多い場合にはタイムセールで順番待ちのカードまで置いて、企業型マーケティングをしてきたと言われています。

ブランドのカバンを持って、高級乗用車であるベンツを走らせながら、特級ホテルだけで高額の売春を通して、チップで 80 万ウォンまでもうけました。警察につかまったチョ氏（27 歳・女）は、自分はソウル市内有名私立大である S 大出身だと主張しながら、インターネットで「演芸企画会社に所属していて、一般花柳界女性と違った品格」という文を載せて自分を広報したということです。彼女はチップで一般売春の費用より 3～4 倍高い 80 万ウォンをもうけたのですが、お客さんが絶えなかったということです。警察は大学を卒業した若い女性たちがブランド品と整形にはまってしまい、からだを売る現実が残念だと明らかにしました。歳月が過ぎれば、その人も結婚して家庭を設けるのでしょうか。もし、その子どもがお母さんの過去を分かったとすれば、はたしてどうなのでしょうか。
人生は、過去、現在、未来から形成される総合デザインです。過去が私に大切なのは、それを私が今日、どのように受け入れるかに従って祝福の土台になるからです。そして、今日がより一層大切なのは、私の人生の未来が含まれていて、今日を通して未来をあらかじめ見ることができるからです。未来がもっと大切なのは、今日の困難を越えるようにする希望のひもを引続き提供するためです。それゆえ、今日、夢を見る人は夢に留まっているのですが、今日の夢を実践する人は、夢をかなえるようになると言われています。それなら、何の夢を見て、何の夢を実践しなければならないのでしょうか。
役に立つ人生　人々は、お金が多ければ幸せだと思っています。必要な部分もあるでしょうが、しかし、幸せのうつわは、どんな価値を持ったものをたくさん持っているかにかかっています。そのはじまりは、「まことの私」を発見するところから始まります。人間は、だれでも私自身の前に 1 分だけ真実になりえるならば、自分でいくつかのことを発見するようになります。

①人間は限界があるという事実を発見するようになります。
②もう少し真実になってしまえば、人間は罪人であるということを発見するようになります。
罪を犯すから罪人なのではなく、根本的に罪人だから罪を犯すということを知るようになります。
③私たちがもう少し真実になれば、とうてい理解することもできなくて、解決することもできない霊的な問題があるという事実を悟るようになります。

それで、聖書は人間の不幸と苦しみのはじまりが、単純な人間の弱さや嘘のためではなく、原罪のためであることを明らかにしています。原罪とはなんでしょうか。本来の人間は、神様と交わりながら、ともにいるように神様のかたちを持った存在として創造されました。ところで、目に見えない暗やみの存在であるサタンの誘惑にだまされて、神様を離れるようになりました。この事件以後に、人間はいくら努力をしてもだめになっていて、むしろ努力するほど問題がくるようになりました。それで、教育と科学が発展して、所得水準が高くなるのに、犯罪と子どもの堕落はますます深刻になっていくのです。ところで、神様を離れたというのが、そのまま終わるのではありません。結局は、人生全体が悪魔の手に完全に捕われて、運命と運勢というくびきに閉じ込められて、いくら努力してもだめな状態に陥ってしまったのです。
詳しく調べれば、先進国であるほど精神問題、麻薬問題、家庭問題、次世代問題はさらに深刻です。今、全世界で一番多い病気が心の病気、精神病です。そうして肉体の病気もずっと来るしかありません。表面では笑って通っていますが、日が進むにつれ、隠された苦しみは難しくなるのです。このように苦労して死んで、永遠な地獄の苦痛の中に行くようになります。そして、さらにくやしいのは、私が受けていた苦しみが、私の子どもにもそのまま伝わるという事実です。
この問題は何によって解決することができるのでしょうか。
宗教と偶像崇拝、善行と哲学は慰めにはなるでしょうが、人間の根本問題を解決することはできません。それで神様が直接会う道を開けてくださったのです。私ちが罪人であった時にイエス・キリストが十字架で死んで復活されることによって、救いの道を開かれたと聖書は語っています。
イエス・キリストを通して
①サタンの勢力を完全に倒して、その手から出る道②神様に会う道③罪と呪いから解放される道を開いてくださいました。
「イエスは彼に言われた。『わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。』」（ヨハネ 14:6）
主イエス・キリストを信じれば今すぐ神様の子どもになります。
これが名品人生への最も確実な第一歩で、まことの幸せのはじまりです。
神様はあなたを愛しておられ、あなたは神様の前で大切な人です。

正しい祈りの課題の最初- 御名

ウェストミンスター信仰告白で小教理問答 101 問を見れば「第一の祈願では、私たちは何を祈り求めるのですか。」答え「御名があがめられます（聖なるものとなります）ように」と祈りなさいとなっています。あがめられる（聖なるもの）ということばは、区別されたということです。言い方を変えれば、違うということです。何が違うということでしょうか。悪霊とは違うということです。聖書は悪霊を認めています。それは、違う神があるということです。ところで、それは神様ではないということです。私たちが手で作っておいて拝む、そのような神ではありません。何か小さい箱の中に置いておいて神だと呼ぶ、そのような神様ではないということです。

それで最初の祈りは、神様を深く知ること、神様を正しく知ることです。ダビデが最後に遺言で息子ソロモンに言うのに、「あなたは努力して、男らしくなりなさい。そして神様を知りなさい」と頼みました。ソロモンは伝道者の書で告白して、「私が立派な王であったが、それもむなしい。神殿を作ったが、それもむなしい。ただ唯一の真理は神様である。それで、あなたは若い時に神様を覚えなさい」と言いました。二番目に神様が栄えるようにということです。三番目に、すべのことを通して神様の栄光が現われるように祈ることです。これが最も正しい祈りのはじまりです。そして、最も幸いな答えのはじまりです。

それゆえ、イエス・キリストをのがしてはいけない理由があります。イエス・キリストということばは、「油を注がれた者」という意味です。まことの王、まことの預言者、まことの祭司として来られて、人間が神様に会える道を開いて、罪とのろいから解放してくださり、サタンの手から解放される道を開かれたということです。サタンはイエス・キリストの御名を最も恐れます。

それでキリストを知るということが重要です。

聖書で知るという言葉は、同じように know と使いますが、前の前置詞が違います。私はその女の人についてだいたい聞いて知っているという時は‘I know about her.’それはだいたい聞いて知っていることです。少し知っていて、会って食事もして、いっしょに話もするような関係。そのように知るということは、また別です。‘I know of her.’ところで、一緒に住んでおり、いっしょの一つの家族だという関係で知っているのは違います。そのように知ることを‘I know her.’そのように、キリストを正しく知ることがとても重要です。さらに重要なのは「すべてのことがキリストから出てキリストの中にある」コロサイ 2:2~3 となっています。

それで、すべてのはじまりをキリストの中ですることが重要です。イエス・キリストの中で受けた答えは永遠なので、サタンが神様の子どもの人生を絶対に倒すことができません。聖書 66 巻の中で一番重要なメッセージは**「イエスがキリストです」**ということです。このイエス・キリストを知るほど働きは起きるようになります。

「その永遠のいのちとは、彼らが唯一のまことの神であるあなたと、あなたの遣わされたイエス・キリストとを知ることです。」 ヨハネ 17:3

神様の子どもになる

受け入れの祈り

愛の父なる神様。私は罪人です。
今まで神様を離れ、サタンの支配の下に縛られて、奴隷のように生きて来ました。しかし、今、この時間、イエス様を私の救い主、私の神様、私のキリストとして受け入れます。イエス･キリストは、神様に会う唯一の道であり、サタンの権威を打ち砕かれ、すべての罪とのろいと災いから私を解放してくださったキリストであると信じます。いま、私の中に入って来てくださり、私の主人になってください。今から私の生涯を細かく導いてください。イエス･キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

神様の子どもの

毎 日 の 祈 り

父なる神様、イエス・キリストによって神様がいつも私とともにおられて、導かれることを感謝します。今日も、すべての生活の中で、神様の子どもになった祝福を味わうように、聖霊で満たしてください。私の家庭と現場と行くところごとに福音を邪魔して困らせるすべてのサタンの勢力を権威あるイエス・キリストの御名で縛ってください。どんなこと、どんな問題でも、解決者であるイエス・キリストに任せて、その中で神様のより良い計画を発見しながら、聖霊に導かれる生活になりますように。そして、私の生活を通してイエス様がキリストであるということがあかしされ私の現場に神の国が臨むようにしてください。毎日、私の生活の中で神様の願いである世界福音化の契約を握って勝利できますように。今も私とともにおられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

中立の危機

イラスト＿カン・アラム

今年の冬は雪が多くて寒かったので、アパートの地下駐車場に自動車が集まった。普段には入っていなかった車までも、すべて地下に入ってくるので、当然、駐車空間が不足する。そうするうちに駐車した車両の前に平行駐車をすることが頻繁にあった。普通の時にこのような形で駐車すれば、警告レッテルが張られたりするが、特別状況であるから仕方ない。

平行駐車をする時は必ず守らなければならない事項があるのだが、車両の方向によく合わせて自動車の車輪を一列に置いて、ギアはニュートラルに位置してサイドブレーキはかけないのだ。それでこそ、自動車が出て行くとき、押して出て行くことができるのだ。この頃は自動車が大型化されて、女性の運転手がこういう車を夜明けに押すことは簡単なことではない。ときどき、運転の習慣で、サイドブレーキをして入って行って抗議を受けることもあって、家から車を動かそうとまた服を着て出て行く場合もある。寒い冬なのに、どうすることもできないハプニングだと言える。

先日、夜に仕事が遅れて、しかたなく平行駐車をして入ってきた。朝に約束があって、駐車場に行ったところ、すでに車両が本来の場所から遠くに移されていた。早く出て行く人たちが車両を押して出て行く必要があったという証拠であった。車に乗ってエンジンをかけたが､なんとまあ!エンジンがかからないのだった。どういうことなのかと思って、あっちこっち調べた後、エンジンをふかす時間を十分に与えてエンジンをかけてみてもだめであった。寒くて放電したと判断して、サービスセンターの番号を探して、約束していた所には、約束を守れないというメールを送った。ところで、ナビゲーションの画面は正常に動くのではないか。それなら、電気は正常に通じているのだ。しまった!と思って、ギアを見たら、ギアはそれまでニュートラルに入っていたのだった。普段のように自動車のギアを駐車位置ではなく、前の夜に共同体の立場にしたがって、誠実にギアをニュートラルの位置にしておいたのを忘れて普段の運転習慣のとおりブレーキに足をのせて車両を運転しようとしたので、こういう失敗になったのだった。

結局、ニュートラルは良いけれど、ニュートラルでは何もできないという事実を発見した。

人生はどんな場合でも、選択する生き方を要求する。これかあれかという葛藤の中で歴史は発展して、学問は作られる。これでもあれでもない中立（ニュートラル）の位置にある人は発展を期待することができない。神様は、人生に選択する生き方を贈り物として与えられた。中立の位置で生きるということでなく、人間の意志によって方向を定めることができる創造主に次ぐ祝福を受けたのだ。それで、創造主は人生を代表するはじめての人である被造物に、いのちの木の実と善悪の知識の木の実を与えられた。最高の価値までも選択する自由を提起されたのだった。しかし、人はサタンにだまされて、人が永遠に生きるいのちの代わりに神様になろうと思う熱望で善悪の知識の木の実を選択して、それが滅亡の根拠になった。人間のすべての苦痛はこのように始まった。

はじまりがあれば終わりが必ずあるようになるが、人間は今現実にいる間、選択できる機会がある。初めて人が失敗を選択したが、いま私は成功を選択すれば良い。まことの成功はキリストによる救いだ。初めての失敗を完全にひっくり返す完ぺきな方法は、神様が人間になって成し遂げられた十字架の救いだ。

自動車のギアが中立（ニュートラル）ならば動けない。人生が中立ならば初めて人のようにサタンにだまされるので苦労する。イエス･キリストだけが、中立で孤立した人間が抜け出せる唯一の道だ。

チョン・ヒョングク（福音コラムニスト）

＊相談したい方はこちらまでどうぞ